

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
理科 生物基礎	2	3	高等学校 新生物基礎 (第一学習社)	ネオパルノート 生物基礎 (第一学習社)
科目の概要と目標	1 実験や観察を通して、生物に対する興味や関心を高める。 2 生物の基本的な概念や原則を学習し、科学的な自然観を養わせる。 3 生物学的探求心を養い、自然に対する敬意の念や生命を尊重する態度を養わせる。			
単元	学習内容	到達度目標		
1章生物の特徴 1節 生物にみられる共通性と多様性 2節 細胞とエネルギー	生物の共通性 細胞構造の共通性と多様性 真核細胞の構造 代謝とエネルギー 光合成と呼吸 葉緑体とミトコンドリアの起源	<ul style="list-style-type: none"> 生物によって、細胞の共通部分と違いを理解し、生物は同じ起源を持つものであることに気づく。 生体内を構成する有機物を理解し、必要性を説明することができる 生体内の代表的な反応を理解し、説明できる 		
2章遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝子とDNA 2節 遺伝子の働き	遺伝子・染色体・DNA DNAの構造 DNAの複製と分配 遺伝子の発見 生体内のタンパク質 細胞と遺伝子の働き	<ul style="list-style-type: none"> DNAの構造発見の歴史を理解する 体細胞分裂の過程を理解し、同じ細胞が増殖することに気づく DNAの塩基情報からタンパク質が合成される過程を理解し、様々な違いはタンパク質の違いであることに気づく 		
3章体内環境と恒常性 1節 生物の体内環境 2節 体内環境を維持するしくみ 3節 生体防御	体液とその働き 体液の循環 体液の濃度調節 肝臓の働き 体内環境の調節のしくみ自律神経系の働き ホルモンによる体内環境の維持 血糖量の調節 体温の調節 生体防御 体液性免疫 細胞性免疫	<ul style="list-style-type: none"> 体内の環境維持に働く体液を理解し、血液の重要性に気づく 肝臓、腎臓の働きを理解し、その重要性に気づく 自律神経系、内分泌系のはたらきを理解し、協調して体を守っていることに気づく 様々な免疫現象を理解し、日頃私たちの体が守られていることに気づく 		
4章植生の多様性と分布 1節 植生と遷移 2節 気候とバイオーム	植物と環境 さまざまな植生 植生の遷移 気候・降水量とバイオーム 世界のバイオーム 日本のバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 生態系を理解することで、植物の重要性と環境について考えることができる 植物が環境に応じて様々な形態を取ることを理解する 		
5章生態系の保全 1節 生態系と物質循環 2節 生態系のバランスと保全	生態系 生態系の物質循環とエネルギーの流れ 物質循環 生態系のバランス 人間活動と生態系 生態系の保全	<ul style="list-style-type: none"> 物質の循環に伴ってエネルギー循環が起こることを理解する ヒトの活動がどのように影響するかを考えることができる 		